



クローバー動物病院

だより 第19号



今回は、外耳炎(がいじえん)①についてです。

外耳炎(がいじえん)①

外耳炎はイヌに多い病気です。特にレトリバーやミニチュアダックスのように耳が垂れているイヌ、あるいはマルチーズ、プードル、シーズーのように外耳道に毛がたくさん生えるイヌは、ほかの犬種よりも耳の炎症を起こしやすいといえます。

また、イヌでは5~20%の子が外耳炎を起こしているのに比べ、ネコの場合は約2%と低く、その理由として、ネコの耳介が立っていること、外耳道内に毛がないことにより通気性がよいためと考えられています。

1 耳の構造：耳は外耳・中耳・内耳から構成されています

- ・ **外耳**…耳介と外耳道から構成され、音波を集めて鼓膜に伝える役割をもっています。
- ・ **中耳**…鼓膜、耳小骨、耳管、鼓室から構成され、入ってきた音波を振動に変換して内耳へ伝導する役割をもっています。
- ・ **内耳**…蝸牛、前庭、半規管から構成され、音や頭の位置の変化から生じる刺激を神経に伝える役割や体の平衡バランスに関与しています。

2 原因

外耳炎は耳介および外耳道におこる急性あるいは慢性の炎症を主徴とする疾患です。

イヌの外耳道は急カーブを描くように湾曲しているため、いろいろな障害を起こします。湾曲部分に水や耳垢がたまりやすく、異物が入りこむ場合細菌もあります。

これらは、常在・カビの絶好の巣になります。イヌに耳の病気が多いのはそのためです。

そのほかに、アレルギー、耳ダニ、マダニ、外傷、腫瘍、草の実、昆虫によって耳の病気が起こります。

ネコでも原因は同じですが、耳疥癬虫（耳ダニ）の寄生による外耳炎が最も一般的といわれています。

3 症状

耳の病気は、突然発生するものもあれば、慢性的な場合もあります。耳の中は赤くはれあがり、潰瘍ができる場合もあります。悪臭がして、耳垢やときには膿（ウミ）が認められるかもしれません。

耳炎には痛みがともない、またアレルギー性耳炎の場合はかゆみもともなうため、耳をかいたり、首を振ったりします。

また、耳のあたりをさわると痛がります。さらに、耳を激しくひっかいて耳たぶの内側が出血を起こし、耳血腫とよばれる腫脹を起こすこともあります。